

(中国丙01)
インフルエンザ
発生推移
= 2023年1月度 =

発表: 2023年02月27日天津CDC

作成: 2023年03月07日
日中医療衛生情報研究所

インフルエンザの分類について

- ここには一般の季節性インフルエンザと
(2013年11月分以後の)H1N1型が含まれている。
- 中国でしか感染者が出ていない
H5N6や、
H9N2の患者については、
界面サイトでのH5N6患者に関する記述から、
「その他感染症」に分類されていることが判明しました
⇒ <https://www.jiemian.com/article/5659382.html>
の最終パラグラフご参照ください。

インフルエンザの特徴

2008年からこれを振り返ってみると、

年間4万人(2009年)から350万人(2019年)までと振幅が大
コロナとインフルエンザの関係についての疑問:

2019年12月は1,199,771人

2020年01月は 986,543人

この2か月連続100万人という状況を、
衛生当局は検査体制の向上によると主張。

これに対し

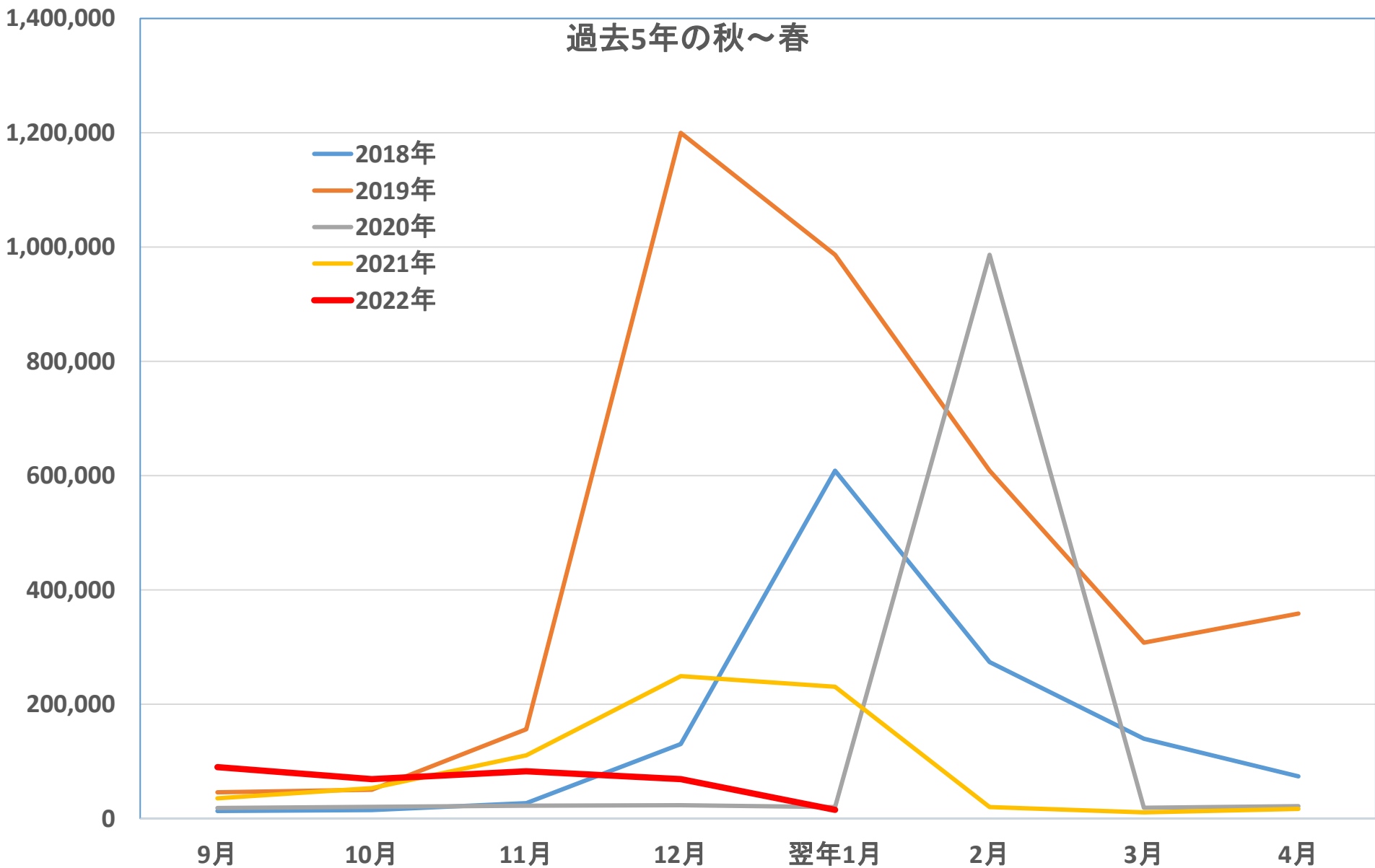
2020年12月は 23,546人

2021年01月は 20,232人 となった

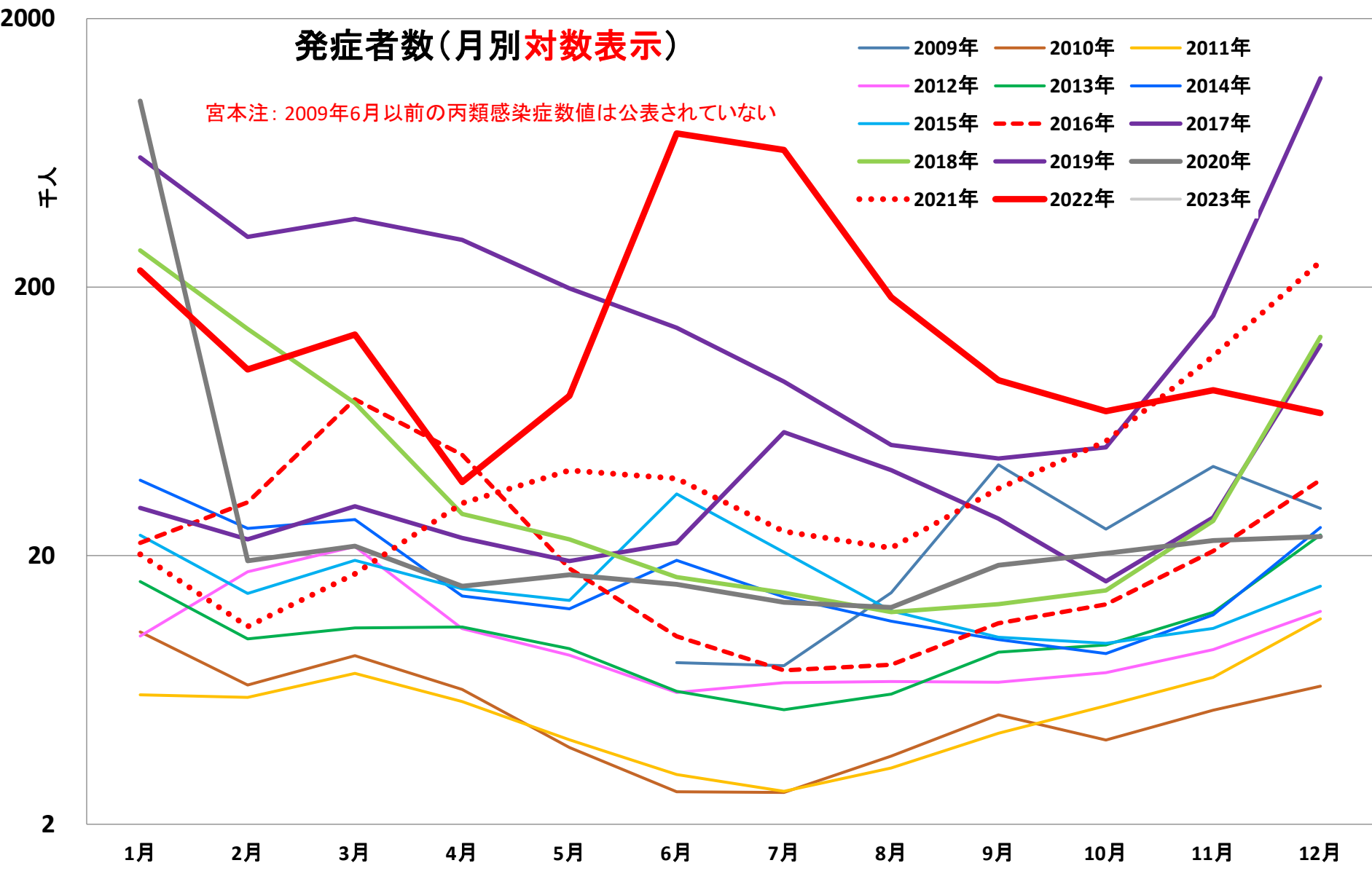
謎が一層深まる数字が飛び出した感じ:

'19年末の急増にコロナ患者が含まれていたのでは? ...

丙01：インフルエンザ

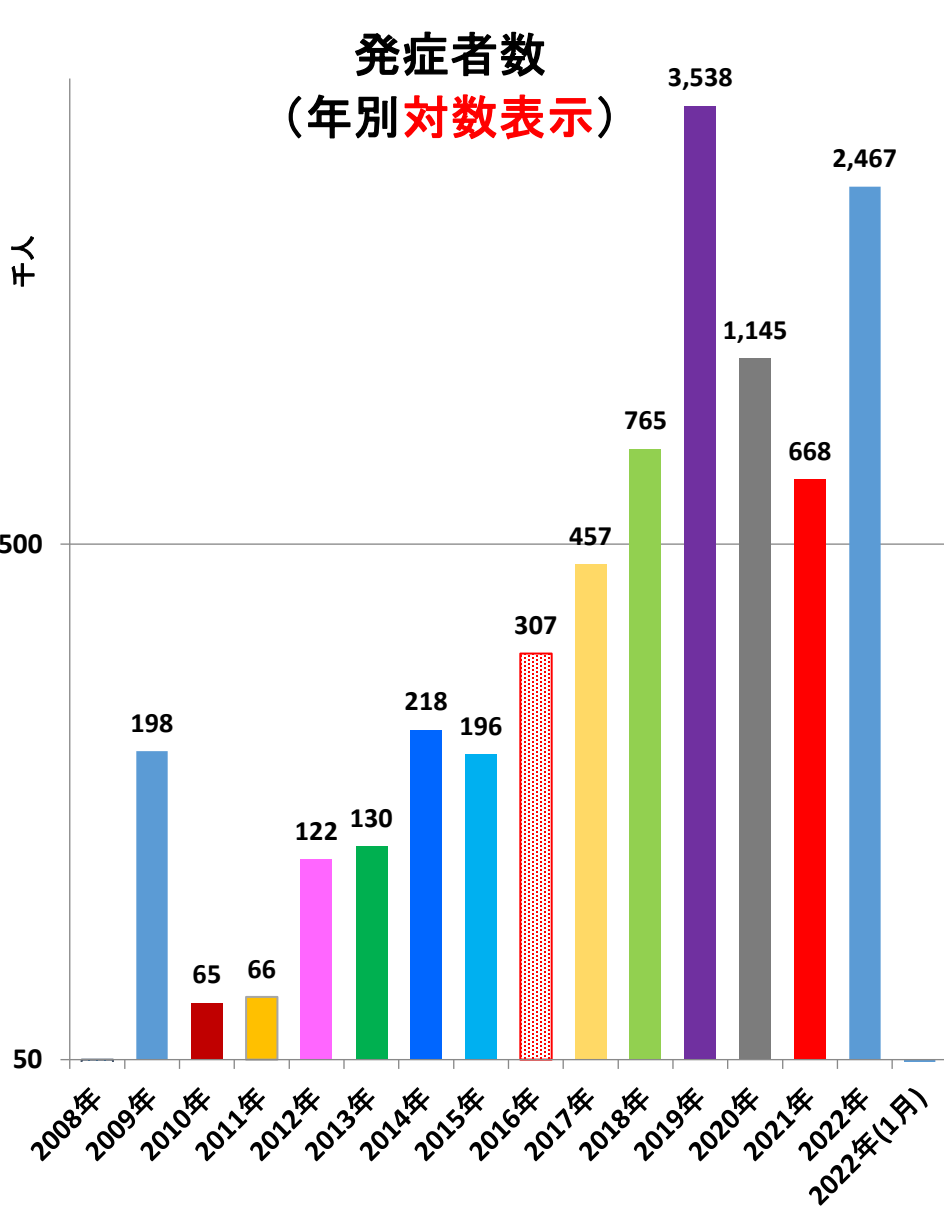


丙01：インフルエンザ発症者数（秋～春）



丙01：インフルエンザ

発症者数 (年別対数表示)



死亡者数(年別)

